

No.223



HPは
こちら

坂東地域アグリ通信

令和6年6月24日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

令和6年度「アイガモロボ現地検討会」を開催しました

5月30日、当普及センターの主催で、昨年に引き続き令和6年度アイガモロボ現地研修会を開催し、関係機関25名が参加しました。

アイガモロボは、水稻の有機栽培に活用できる水田を自走する自動抑草ロボットです。田面水と土壌表層を攪拌することで雑草の発生を抑制し、水稻の収量確保や機械除草作業の削減による省力化が期待されます。現行機は約500台が販売され、より小型軽量で価格を抑えた新機種をメーカーでは開発中とのことです。

普及センターからは昨年の調査をもとに、アイガモロボ導入により機械除草作業を慣行3回に対して1～2回削減可能なこと、労働時間が最大30%削減可能なことなどを説明しました。

次に(有)アグリ山崎の山崎氏から、有機栽培への取組やアイガモロボ導入のメリットなどをお話しいただきました。参加者からは活発に質問が挙がり、関心の高さがうかがえました。

普及センターでは、引き続き有機農業に取り組む生産者の支援をしていきます。



令和6年度「夏ねぎ立毛競作会」が開催されました

岩井農協園芸部では栽培技術や品質の向上、良品生産への意欲向上を目的としてねぎ立毛競作会を開催しています。立毛競作会は初夏ねぎ・夏ねぎを対象に5～8月の計4回実施され、成績優秀者は9月に表彰されます。また、入賞者の栽培管理技術を優良事例集としてまとめ、部内の技術向上に繋げています。

46回目となる今年も、6月7日（金）に農協園芸部役員とJA・市・普及センター職員がほ場審査と現物審査を実施しました。出品されたほ場は丁寧に管理されており、出荷用に調製した現物も品質揃いが良く、技術力の高さが伺えました。一方で、県内でべと病が多発生している状況の中、防除に苦労した様子も感じられました。

普及センターでは、今後も高品質安定生産のための活動を支援していきます。



令和6年度「さしま茶ふれあい学習」を支援しました

5月9日（水）、農業大学校の園芸部において、茨城県茶生産者組合連合会坂東支部主催による、お茶の勉強会「さしま茶ふれあい学習」が開催されました。本会は小学生が茶摘みなどの体験を通して地域の特産品である「さしま茶」を知り、親しんでもらいたいという思いで毎年開催されています。今年は、坂東市内13校の小学4年生、383名が「さしま茶」について、歴史の勉強やお茶摘み体験、製造工程見学、お茶の試飲を通して学習しました。

普及センターは農業大学校園芸部、坂東市役所と協力し、「お茶のおはなし」として、様々なお茶の特徴や「さしま茶」について、紙芝居形式で説明しました。

参加した小学生は熱心に話を聞き、茶の新芽である「1芯2葉」を一生懸命摘んでいました。また、お茶の試飲ではおかわりして美味しそうにお茶を飲んでいました。



作業前に確認！ 熱中症予防ポイント

① 喉が渇く前に水分補給

- 喉の渇きに関わらず、30～40分おきに水分を取るよう心掛けましょう。水分と併せて塩分も補給しましょう。

② 定期的な休憩を取る

- あらかじめ、休憩の間隔を決めて休みましょう。なるべく涼しい環境で休憩するようにしましょう。

③ 複数人で作業する

- 作業はできるだけ2人以上で行い、互いに声を掛け合いましょう。必ず携帯電話を持参しましょう。

④ 하우스内の換気の徹底

- ハウス内では、短時間の作業でも側窓や天窓を開放し、少しでも風通しを良くしましょう。



7月・8月 土壌診断実施日のお知らせ

7月は、5日（金）、17日（水）、31日（水）の3回の予定です。
8月は、9日（金）、21日（水）、30日（金）の3回の予定です。

- 個人の農家の方が対象です。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断となります。
- 1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

編集後記

皆様、いかがお過ごしでしょうか。最近では気温も上がってきており、扇風機無しでは過ごしづらい日々が続いていますね。これからとても暑い夏がやって来ますが、私は冷房の効いた部屋で食べるざる蕎麦を楽しみに生きていきたいと思います。（バティン）